

前回セミナー（11月10日実施）ご参加者の声

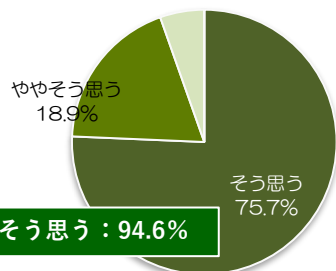
2021年11月10日（水）に実施したセミナーでは、
専門学校が進化していくための **3つの問題提起** について議論を深めました。

- ①なぜ、学生満足度を追求してはいけないのか
- ②教員の目標（やりがい）をどのように経営と結びつけるか
- ③どのような経験・体験を学生にさせるべきか

※今回（12月21日）も同じ内容で開催します。

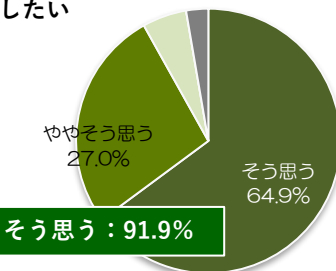
これら3つの問題提起や「教育の質」を高める取り組みについて、多くのご意見、ご共感をいただきました。
以下に、セミナー後のアンケートで寄せられました声を一部ご紹介いたします。

Q.セミナーの内容が参考になった



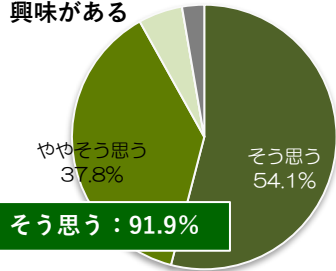
- 専門学校進学者の多くが職業決定していないとは。ガイドプロモーションも広報に取り入れる必要性を感じました。
- 時間が短いと感じるほど充実した内容でした。今後の学校運営に生かしていきたいと思います。
- 1つ明確な課題が見えました。本校の課題は何か明確にしながら、具体的な対策を考えたい。
- いつも参考になるセミナーありがとうございます。しっかり学校運営に落とし込めるよう努めていきたいと思います。

Q.自校でも「教育や募集のしくみ」を改善したい



- 何となく出来ている、感覚的に理解出来ているというところで止めていて、それを体系化、システム化、見える化出来ていない。または、その方法が分かっていないということを改めて痛感しました。
- 教務への理解促進について、どのように浸透を図るべきか方向性を明示いただき、実践していこうと思いました。
- 経営と教育の意識の統一（モチベーションの内発と外発のバランス）は喫緊の課題であると感じておりましたので、理論的に整理できてよかったです。
- すべて参考になったが、特に「迎合でなく啓発」「どのような経験ではなくどのように経験」が印象に残りました。

Q.学生のロイヤリティや納得度を測る調査に興味がある



- 学生への迎合と満足は違うという点において、学生満足に対してもっと学校としてどうあるべきかを考えるきっかけになりました。
- 授業などでの「意義や目的の事前説明と振り返りの有無」や、学生の納得感が成果・効果に結びついていることがよくわかりました。
- エンロールマネジメントについては以前から興味を持っていたのですが、具体的な指標で様々な要因を分析できれば、状況改善の方向性を見出せると感じました。
- 社会や業界が変化中、また教育のあり方も変化しています。改めて学校や教育の価値を再考し、共有化する必要を実感しました。

(株)応用社会心理学研究所 学校事業分野での実績

(株)応用社会心理学研究所は、学校事業分野では、募集マーケティング、ブランディング、キャリア教育等の研究・実践を行っております。中でも、**進路決定研究については、20年以上の実績**があります。

◆大学進学者に対する全国一斉調査 （対象：大学進学検討者 26,993名）

大学進学メカニズムを明らかにするために、大学進学を希望する50万人に対して調査を実施しました。



◆高等教育機関からの受託調査 ・大学向け各種調査 延べ20校 ・専門学校向け各種調査 延べ80校 （※全国専門学校共同調査は除く）

入学者／非入学者調査、在校生調査、修了生調査、教職員調査、オープンキャンパス調査、募集説明会調査、授業評価調査、インタビュー調査、ニーズ調査 など

◆全国専門学校共同入学者調査／卒業生調査 【全国の専門学校190校以上、13万人以上のデータベース】

専門学校の募集活動やブランド構築を支援し、教育の質の向上に役立てていただくために大阪府専修学校各種学校連合会と共同調査を行っています。

◆「13歳のハローワーク公式サイト企画“しごと観育成”研究会」

若者の“しごと観”育成を目的として“しごと観”の現状や、影響する要因をつきとめるための調査・研究を行っています。

◆高校生から見たキャリア教育実態調査

全国の高校生4,679人（18校）を対象に、高校で行われているキャリア教育の実態と“しごと観”の醸成について調査しました。

など、他多数